



長崎県

MINAMISHIMABARA CITY

南島原市

豊かな自然、史跡、
西洋文化が交錯するまち



洲上久男さん作「出会い(ひまわりと笠雲)」



巽信吾さん作「棚田の夜明け」



草野俊彦さん作「絶景加津佐」



山本健一郎さん作「Reflection」

はじめに

南島原市は、平成18年3月31日に、深
えちよう ふつちよう ありえちよう にじありえちよう きたありま
江町・布津町・有家町・西有家町・北有馬
ちようみありまきよう くらちのつちよう かづさき
町・南有馬町・口之津町・加津佐町の旧8
町が合併し誕生したまちです。

長崎県の南部、島原半島の東南部に位
置し、千メートルを超える山々が連座する
雲仙岳山麓から、南へ広がる豊かな地下水
を含む肥沃な大地と、魚介類豊富な有明
海及び橘湾に広く面する海岸線を持つ地
域です。

市内には歴史的にも貴重なキリシタン文
化の固有的な歴史財産が多く存在し、そ
の中でも江戸時代初期、島原・天草一揆の
舞台となった「原城跡」は、昨年7月に世
界文化遺産に登録されました。

主な産業は、豊富な農産物と手延そう
めんの製造販売で、全国屈指の生産高を
誇ります。

寄稿・南島原市





1.笑顔でお見送り 2.体験の様子 3.海外からの受け入れ 4.涙でお別れ

人と人との心のふれあい ～農林漁業体験民泊～

南島原の民泊では、お客様を“家族の一員”としてお迎えしています。受入家庭の家族と一緒に農林漁業体験や地元の旬な食材を使って食事を作ります。

平成21年から始まった民泊は、受入家庭の人情味あふれるおもてなしが評判となり、昨年10月には修学旅行での利用者が5万人を突破しました。受入れは修学旅行生に限らず、一般客や外国人旅行者にもお越しいただいています。南島原の自然豊かな環境で、農林漁業を体験してみませんか？

南島原独自の英語教育

国際化が急速に進む中、南島原市では郷土愛とグローバルな視野を併せ持つ学校教育の推進に力を入れています。

その一環として、世界に羽ばたく人材の育成のため、フィリピン共和国から英語指導手（EAT※）として3人を市独自で採用しています。

なお、フィリピン共和国は、人口の9割以上が公用語として英語を用いており、世界トップクラスのビジネス英語力を持つ国との調査結果もあります。小学校から英語に触れあう機会をつくり、英語力の強化を図っています。

※EAT：English Assistant Teacherの略。
市独自で任用した現役の英語教師。



EATと西有家小学校の子どもたち

強く、美しく愛はつながる

ある夏の日に戻る…



- 

ショートフィルム「夢」

このショートフィルムは、単に観光名所を紹介するといった、これまでのPR動画のイメージを払拭し、物語を通して観る人の心に届き、その中でさりげなく南島原市を表現するといった新しい手法で制作しています。

賞において、国内最高賞である観光庁長官賞を受賞しました。

平成29年度に制作した市のPRショートフィルム「夢」は多くの方にご覧いただいたており、公開から半年で約90万回の再生回数を記録しました。



第二弾制作決定PR動画





原城跡の上空から(南島原市南有馬町)

世界文化遺産 原城跡

キリシタン大名有馬氏によって築かれた城で歴史的にも有名な『島原・天草一揆(島原の乱)』の舞台。天草四郎を総大将に一揆軍が籠城、幕府軍との攻防戦が繰り広げられ、幕府軍から徹底的に破壊されました。

この場所は、江戸時代の実禁体制(鎖国)の確立につながり、潜伏キリシタンが自らのかたちで信仰を続けるきっかけとなった場所です。



原城本丸跡を上空から望む



原城本丸跡に建つ天草四郎像(北村西望 作)

原城VR(バーチャル・リアリティ) 「よみがえる原城」



VRで原城の築城当時と島原・天草一揆当時の様子(イメージ)をスマートフォンやタブレット端末でご覧いただけます。原城跡本丸を中心にビューポイントというVR体験ポイントを8カ所設定し、各ポイントにおいて360°のVRビューをフルCG映像で楽しむことができます。

原城跡を訪れる前にお持ちのスマートフォンやタブレット端末に体験型VR観光アプリ「ストリートミュージアム」(無料)を事前にダウンロードしておくことをおすすめします。アプリはGoogle PlayおよびApp Storeから無料で入手可能です。現地でも「よみがえる原城」を見てみよう! 原城跡の現地案内所でタブレット端末を無料貸出しています。

※VRとは、バーチャル・リアリティの略称。コンピューターなどを用いて仮想的な世界を、あたかも現実世界のように体感できる技術のことです。

有馬キリシタン遺産記念館

世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である「原城跡」を中心とした、南島原におけるキリシタン史を展示したガイダンス施設です。

キリスト教の伝来から繁栄の時代を示す「日野江城跡」、そしてキリシタン弾圧や「島原・天草一揆」の歴史を分かりやすく解説しています。現地とあわせてお立ち寄りください。

Data

入館料 / 大人300円、高校生200円、小・中学生150円
(身体障害者手帳等の所持者・団体割引があります)

開館時間 / 午前9時～午後6時

休館日 / 毎週木曜日、12月29日～1月3日

住所 / 長崎県南島原市南有馬町乙1395番地

駐車場 / 100台(隣接駐車場含む)

お問合せ / 0957-85-3217





2



3



4

1.昨年9月の開所式でのテープカット 2.教室を改築した宿泊施設内部の様子 3.小学校の面影をそのままにとどめた外観 4.自作の解説をする当施設エディューケーター(銅版画家)池田 俊彦氏



1

「アートビレッジ・シラキノ」をオープン

南有馬町の白木野地区は、平和祈念像の作者、北村西望生誕の地です。平成26年度末に廃校となった旧白木野小学校を活用し、文化芸術を核とした地域交流拠点施設「アートビレッジ・シラキノ」が昨年9月にオープンしました。この施設では、常駐のエディューケーターを配置し、企画展や版画教室などをおして、作品の魅力や制作、学ぶことの楽しさを伝えるとともに、来館者の皆さんと芸術を繋ぎ、施設を楽しんでもらうための支援を行っています。



1

島原手延そうめん

全国屈指の手延そうめんのまち、南島原市。

南島原市で作られる島原手延そうめんは、厳選した良質の小麦粉、塩とミネラル豊富な雲仙の伏流水などを用いて作られ、全国でも有数のそうめんの生産量を誇っています。

麵師から麵師に受け継がれた職人の技により作られる島原手延そうめんは、独特の「ヨシ」と「粘り」が特徴で、きめ細やかな舌ざわり、歯ざわりとのどごしは天下一品といわれています。



島原手延そうめんPR動画

1.職人の技「大引き」 2.夏はやっぱり「島原手延そうめん」 3.冬もおいしい「にゅうめん」 4.廃校を活用した南島原食堂の「おかえりそうめんセット」



4



3



2



(株)ミナサポ設立総会にて(左から牟田取締役、山口社長、パシフィックパワー(株)栗栖社長、松本市長、宮原取締役、伊澤取締役、親和銀行 石丸常務、麻生監査役)

産官金でみんなを

サポート

〈株)ミナサポを設立〉

昨年10月31日、親和銀行、IT関連企業、地域電力企業と共に、地域商社「株式会社ミナサポ」を設立しました。この会社は左記の事業を展開することで、地域のみならずの声に耳を傾け、住民ニーズに合ったきめ細やかなサービスの展開と、地域の魅力を情報発信することによって南島原市の認知度を向上させ、住み続けたいまち、住んでみたいまちづくりを実現することを目的としています。

① 電力小売事業

公共施設などへ電気の小売り事業

② 地域産業サポート事業

地域のニーズや課題などを聞き取り、農業、福祉、観光、教育などの分野で、IoT・AIロボット、アプリ開発などIT活用ノウハウを活かした地域事業者のサポート

③ 旧長野小学校拠点化事業

住民や企業が気軽に立ち寄れる交流スペースの運営や交流イベントの実施、企業をサポートするための相談窓口の設置



(株)ミナサポ設立総会で挨拶する松本市長

市の公共施設への電力小売事業により安定した収益をあげること、会社の基盤を整え、さらにITサービスの開発など企業からの受注を増やし、収益事業を拡大させ、その収益を地域に還元していきます。

事業実施はこれからですが、平成28年3月に閉校した長野小学校内に会社の事務所を置き、同学校内に交流スペースを設けることにより、企業や創業者を呼び込む役割としても活躍する予定で、学校跡地の有効利用と、地域経済活性化につながる見込みです。